

第1回 テーマ 「であります」 ようこそ連研へ

◆ 問題提起 ◆

- ①この連研をどこで知り、
　　またなぜ参加されましたか？
 - ②今までの人生で心に残る、
　　であった人・物事は何ですか？
 - ③その「であります」をとおして
　　何をいただきましたか？

講師紹介



はらだ ますみ
原田 真澄

昭和33年9月16日生
法明寺住職／本願寺派布教使
／特別法務員

第1期連研時は連研部部長として今回は連研部副部長として連研運営に奔走し続けている。サウナと本屋をこよなく愛する男。先日、集団検診でメタボと指摘される。生活習慣改善により10数キロの減量を命じられた。「わかっちゃいるけど……」

平

平成20年（22年に亘って開催された「広陵東組連続研修会（れんけん）」の第2期目が、11月29日、本願寺広島別院大会議室を会場として始まりました。

「れんけん」とは何か？簡単

に言うならば、現代の社会や個



「れんけん」を通じて色々なことを学んでほしい。物知り顔になつて結構。それより知らずに行動するほうがよっぽど恐い。自由にのびのびとした雰囲気で発言して頂き、様々な気づきを経て、目覚めた真宗門徒となって頂きたい。



珠田組如

人が抱える諸問題を仏様のみ教えに照らし合わせて考え深めていく試みです。

と、参加者20名（申込者22名）の皆様へ期待を述べ、続いて、法山総貫連続研修会部長の挨拶、原田真澄副部長のオリエンテーションによって、「れんけん」の指針が示されました。

また、第1期修了者で本山詔記定資格「門徒推進委員」となられた川本毅氏（法光寺門徒）及び、山下由美子氏（教傳寺門徒）もスタッフとして参加。より手厚いサポートのもと、第2期「れんけん」いよいよスタートです！

安心ルール

ところで、今回より、参加者の皆様がより自由に気兼ねなく発言できるよう、カウンセリングの手法を手本とした「話し合

7

「最近感ずること



い安心ルール（尊重・傾聴・受容・守秘義務）」を設けました。話し合いで考えを深めて行く過程では、率直な意見やストレートな思いがしばしば重要な鍵となります。「れんげん」では、言葉の内容以前の、発言者の「気持ち」を最大限尊重し、

皆様共々にルールを守り、安心して参加できる、学び・気づき豊かな、充実した「れんけん」研修会を培つてまいりましょう。

いたい近づいてから、自分の心のかたかでいろいろな葛藤が湧き上がります。「印刷ミニスでしょ?」「今日は寝不足で目の調子がおかしい?」等など。今、自分の体に、起きている事が理解できず受け入れられません。

「年相応」という言葉は他人には平気で言えるし思えるけど、自分の事になると「年より若いんだと思いつむ」とで幸せを感じてしまうのです。生老病死真っ只中。

●仏事・仏婦・住職などの勧めによつて「れんけん」に参加した。仏教を通じて、今後どのように生きるか、問つ

助言者 法山総貫（妙蓮寺）

第Ⅱ班

- 人との「であり」・「つながり」の全てが勉強となる。尊いご縁。
- 世相として利己主義がはびこり、お互いが思い遣る「であり」や「つながり」が生じにくい世の中となつた。（良いも悪くも）。
- 「であり」によって、人生が変わつた（良くも悪くも）。



助言者 武田勝道（教西寺）

第Ⅰ班

テーマ「であり」に沿つて提起された問題①～③（表面参照）を中心、「二班に分かれ話し合いを行いました。

明月の話し合い

- ご仏縁との「であり」に感謝。この思いを周りの方々に還していただきたい。
- 色々な「であり」によって、自分のほんとうの姿に気づかせて頂いた。

第3回れんけんの御案内

公開講座「お浄土とは何ですか？」

講師：吉崎哲真師（湯来町 西法寺）

●日時 2015（平成27）年1月31日（土）
①講座：午後1時30分～午後4時
②懇親会：午後4時～午後5時半

●場所 東区区民センター（東区東蟹屋町）

懇親会（会費無料）にも是非ご参加下さい！

その他、様々な貴重な意見が飛び交いましたが、問題提起とは趣旨の異なる発言につきましては割愛させて頂きました。



いただきかたが変わるでしょうか。今考えれば、あの人との「であり」が、あの事との「であり」が深く自分の人生に関わるとは！みんな、経験しています。あれは偶然でなく必然だったんだとね。でも今は単なる偶然の「であり」ですね。

親鸞聖人は「値遇」という言葉を大切にされています。その言葉の意味合いを共にこの研修会を通じて考えていくらなと思います。

「人生は出遇いによって豊かになり、われによって深くなる」よく言われる言葉です。何かの「であり」によって大きく転ぜられるものがあります。

次回は「われ」がテーマです。

「であり」「われ」反対のテーマのようですが切り離せないものです。

今日のこの話し合いをふまえて、次回またお会いしましょう。



まとめ講義

今日は第2期連研の第1回目、まさにスタートの回です。話し合い法座はいかがだったでしょうか？初めての事で少し緊張や戸惑いがありましたか？今回も「れんけん」に参加するには、ご住職さんや仏教婦人会・壮年会等の勧めにより参加をされたかたがほとんどです。第1期連研に参加されてこの度また参加をいただいた方もいらっしゃいます。どのような内容でも仏教の教えにあいたいという思いからこの研修会に参加されたという意見が多く聞こえてきました。また、初めてこのような会に参加された方もいらっしゃいました。いずれにしても有難いご縁だと感じます。

「であり」はうれしいことばかりでなく、

悲しい・つらいこともあります。人生を歩めばその繰り返しです。であって・わかつてまたであって・わかつて、その度ごとに喜怒哀楽が必ずついて回ります。幾たび繰り返すのでしょうか。

「あう」という漢字はいろいろあります。「会・逢・合・遭・值・遇」など。それには意味があり言葉を使い分けます。「会」は決められた場合に人と人の「であり」があるものや出来事との「であり」、非常に広義に使います。「逢」は人ととの「であり」にかぎって使います。「合」は色・形・心等調和をさせるという場合に使います。「遭」は好ましくないことに偶然である。「値」はちょうどそこでである、あくべくしてである。「遇」はたまたま、偶然、よきせぬことである。

今日、広島別院で連研という研修会でみなさまと「であり」をしました。日時場所を決めていましたから「会」といえます。また、初めての人とは「遇う」といえます。これは、一般的に言ったことです。

これって偶然でしょうか？必然でしょうか？この研修会の回を重ねていくとどのように

正しいお作法をしっかりと身に付けて行って下さい。



- ▼礼拝は、合掌時の姿勢を保つたままで、腰を四十五度前方へ傾ける。
- ▼再び元の姿勢に戻るまで合掌は解かた位置で止める。
- ▼礼拝は、手の位置が床と平行にならないこと



- ▼合掌時の手首は胸前にピタリとつけ、指は開かない
- ▼お念珠の房は必ず下方向に垂らす
- ▼お念珠の房は親指以外の四本指に通し親指で上から軽く押さえて固定する
- ▼合掌時の指はしつかりとくつづける
- ▼礼拝作法のポイントは次の通り。お作法のポイントは次の通り。

淨

土真宗の合掌礼拝作法について、乘元明雄（善教寺副住職）が指南。

仏事作法指南道場

しっかり身に付く